

新庁舎完成の挨拶



大田原市長
津久井富雄

このたび、東日本大震災からの復興のシンボルとして位置付けた大田原市の新庁舎が完成いたします。震災で被災した庁舎は使用が不可能となり、約8年におたり、庁舎の機能が複数の施設に分散し、市民の皆様には大変ご不便をおかけしてきましたが、平成31年1

月4日から新庁舎での業務が開始となる運びとなりました。

これもひとえに、市民の皆様をはじめ、市議会議員や関係各位のご理解、ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

また、新庁舎の完成に至るまでの間には、庁舎整備方針をはじめ、事業手法、財源の確保等のさまざまな課題がございましたが、外部の専門家の方々をはじめ、国・県等の関係機関の皆様からご指導、ご助言をいただきながら、こうした課題を解決して参りました。

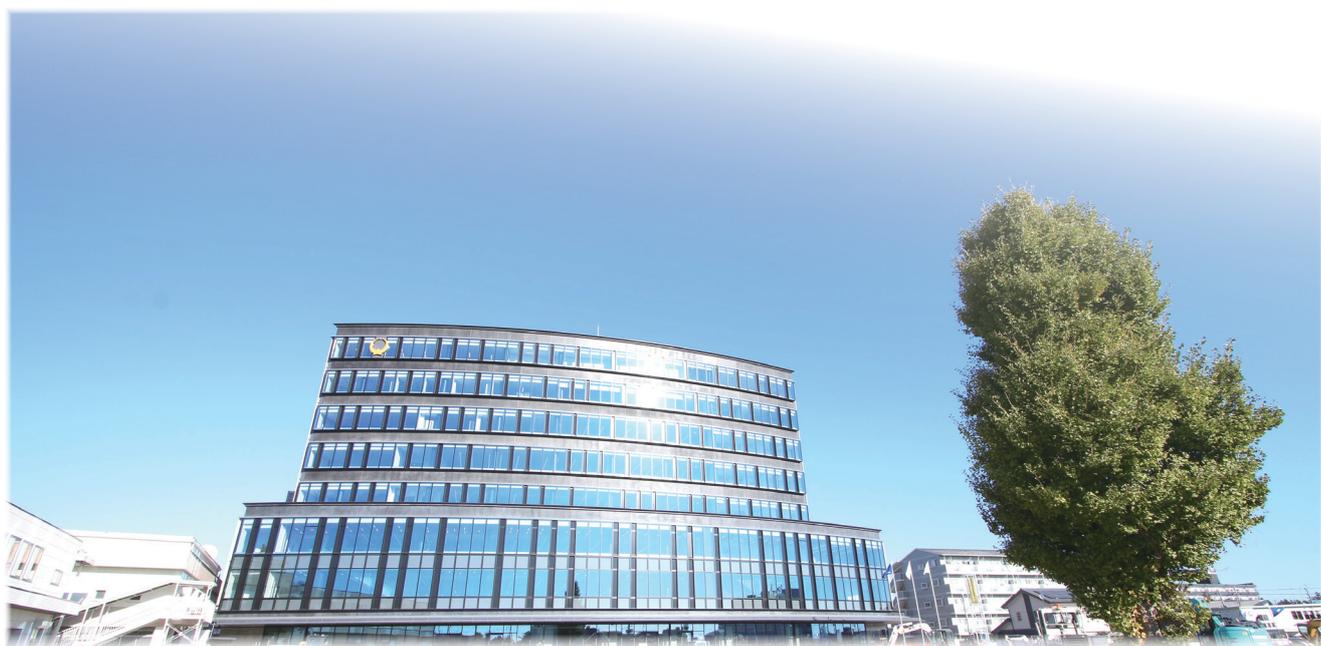
私はこれまで、新庁舎が市民の皆様への安心・安全を支え、また、市民の皆様と行政との交流の拠点となり、皆様に親しまれる庁舎とするをお誓い申し上げて参りました。

そのため、新庁舎には免震装置を設置し地震に強い建物にするともに、停電時の対応として非常用自家

発電機を設置するなど災害に強い建物とし、災害等の発生時には復旧支援活動の拠点とすることとしております。

また、新庁舎の1階には、市民の皆様と行政との協働した活動の拠点となる会議室を設置しましたので、広くご利用いただければと考えております。

市の震災復興の総仕上げとなる新庁舎の完成を契機として、職員がさらなる市民サービスの向上を図り、市役所が市民の皆様への身近な存在となるよう努めることも、引き続き「知恵と愛のある協働互敬のまちづくり」を市民の皆様、職員とともに実現して参りたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。



平成29年8月から建設を進めてきた新庁舎が完成し、平成31年1月4日(金)から業務を開始します。今回の特集は、新庁舎整備のこれまでの経過、新庁舎の概要や特長などを紹介します。